

大菱形骨単独骨折の1例

お 生 越 英 二 ま 庭 昌 人

キーワード：Trapezium, Fractures, Carpal bone

要 旨

今回自転車走行中転倒，大菱形骨単独骨折の症例を経験した。大菱形骨単独骨折は稀な外傷であり，早期に治療を行えば予後の良い骨折であるが診断が困難とされ，初診時に見逃されることも少なくないので注意を要する。大菱形骨単独骨折が疑われるなら CT，MRI も考慮すべきである。

はじめに

大菱形骨単独骨折は比較的稀な外傷で初診時に見逃されることも少なくない。今回我々は、大菱形骨単独骨折の症例を経験したので若干の文献的考察を加えて報告する。

症 例

症例：63歳女性

主訴：左第1CM 関節部痛

既往歴：特記すべきことなし

現病歴：自転車で走行中ハンドルを握ったまま転倒し受傷，疼痛が軽減しないので翌日当院を受診した。

初診時所見：左第1CM 関節掌側部に腫脹と圧痛を認め，左手関節の背橈屈時に同部の疼痛が増強

した。

X線所見：左大菱形骨橈側結節骨折が認められた。母指対立位で前腕より1ヶ月ギプス固定とし1ヶ月後にX線検査をおこなった。以後2週間ギプスシャーレを装着し，6週間後からリハビリテーションを開始した。受傷後3ヶ月現在骨癒合は良好で疼痛は消失し，ADLに支障はない。

考 察

大菱形骨単独骨折は比較的稀な骨折で手根骨骨折の約5%と報告されている^{1,2)}。早期に治療を行えば予後の良い骨折であるが診断が困難とされており，初診時に手関節捻挫と診断されて見逃されることもある^{3,4)}。大菱形骨骨折はその骨折部位から体部骨折と稜骨折とに大別される²⁾。本邦では三須ら⁵⁾が大菱形骨骨折を受傷機転により分類している。受傷機転には直達外力と介達外力があり，母指内転位で橈側に長軸方向の介達外力が加わればその剪断力により裂離骨折や Bennett 骨折に

Eiji OGOSHI et al.

生越整形外科クリニック

連絡先：〒694-0064 大田市大田町大田イ-263-8